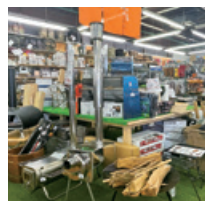
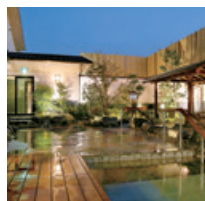




FINANCIAL REPORT 2024

第78期株主通信

2023年4月1日から2024年3月31日まで



証券コード：8225

株主の皆様へ

To Our Shareholders

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに当社グループ、第78期（2023年4月1日から2024年3月31日まで）における事業の概況と決算をご報告するにあたり、ご挨拶申し上げます。

2023年度の当業界をとりまく経営環境は、新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行により経済活動の正常化が一段と進み、景気は緩やかな回復傾向が継続しました。国内においては、個人消費やインバウンド需要などの内需が幅広い分野で持ち直し、観光・レジャー需要も回復基調が継続しました。

一方で人口減少やコロナ禍での退職者増加に伴う労働力不足、原材料不足や資源価格の高騰、実質所得の伸び悩みと節約志向の継続など、本格的な安定成長を実感するまでには至っておらず、当社グループを取り巻く環境は依然として厳しい状況で推移しております。

このような環境の中、当社グループは経営の基本方針として、レジャー産業を基軸にした総合会社として常に環境の変化に対応し、新たな需要の創造と機能性の向上を目指すとともに、事業を通じ生活文化の向上に貢献し、日々新たなる挑戦により企業文化の創造と育成を図ってまいりました。

具体的には、労働力が不足する中、納品体制や組織体制を見直し業務の効率化と生産性の向上に努めるとともに、賃金体系や処遇、制度の見直しを実施し不足する労働力確保に努めてまいりました。また、商品構成や商品価格の見直しにより高騰する原材料価格への対応を進め収益を確保するとともに、商品開発への投資を強化することで回復する市場への対応を進めてまいりました。合わせて増加する外国人観光客への対応として多言語での商品紹介サイトを

充実し外国人観光客の買い物をしやすい環境作りに努め、新たな需要獲得に努めてまいりました。

その結果、第78期における当社グループの経営状況は、最終利益については特別利益の計上があった昨年には届かなかったものの、売上・営業利益・経常利益ともに増収増益となり、事業構造改革によるコスト削減や商品見直しの効果により収益体制も大幅に改善されました。

第79期におきましては、労働力不足や原材料不足、実質所得の減少に伴う経済活動の減退により引き続き不透明な状況が続くものと思われませんが、限られた経営資源を再配分し、成長分野、高収益部門への積極的な経営資源の投入を進めてまいります。

また「企業価値の向上－企業価値を意識した業務推進－」を年度スローガンとして、企業価値を意識した業務を行うとともに環境変化に迅速に対応し意識改革と業務改善を実行してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2024年6月

代表取締役社長

久保田一臣

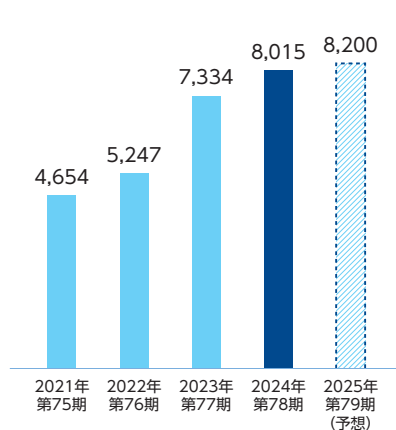


財務ハイライト

Financial Highlight

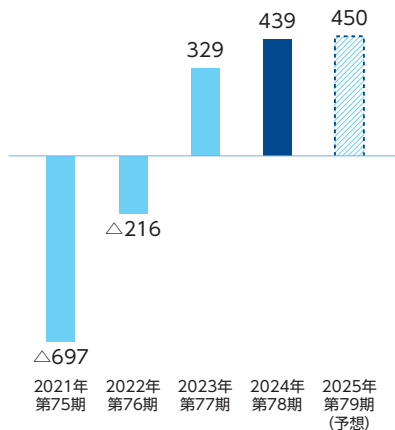
売上高

(単位：百万円)



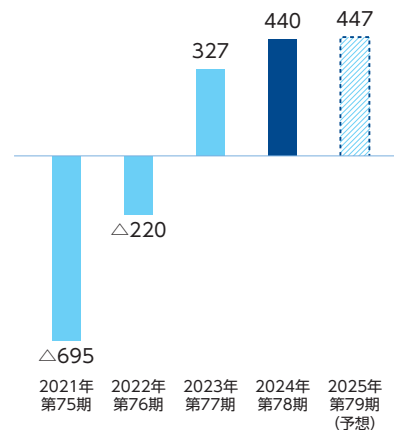
営業損益

(単位：百万円)



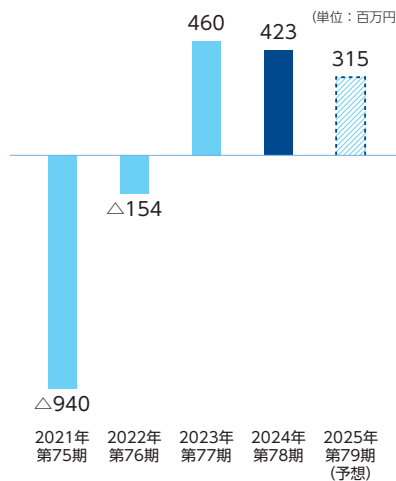
経常損益

(単位：百万円)



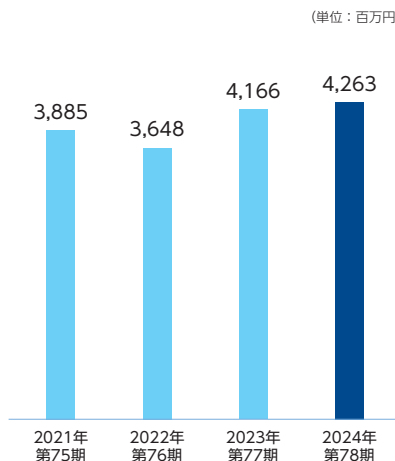
親会社株主に帰属する当期純損益

(単位：百万円)



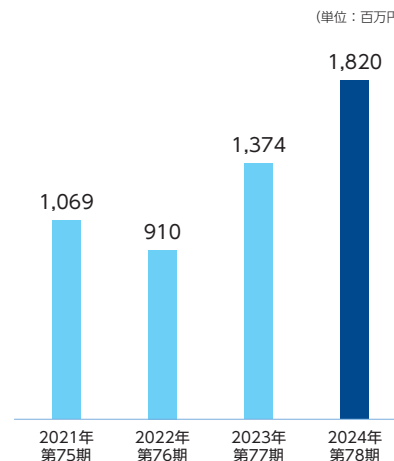
総資産

(単位：百万円)



純資産

(単位：百万円)



事業の概況

Business Overview

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行により経済活動が正常化したことから、景気は緩やかな回復傾向が継続しました。

国内においては、個人消費やインバウンド需要などの内需が幅広い分野で回復し、昨年度の全国旅行支援によるクーポン効果が剥落した影響はあったものの、観光・レジャー需要も回復が継続しました。一方で、資源価格や原材料価格高騰の長期化、物価上昇に伴う消費マインドの低下、観光事業における慢性的な労働力不足等、依然として先行きが不透明な状況も続いております。

このような経済情勢のなかで当社グループといたしましては、市場や顧客ニーズの変化を的確に把握し、機会を捉えた商品供給による販売強化と業務の効率化による収益力強化に努めてまいりました。

この結果、当連結会計年度の売上高は8,015百万円（前年同期比9.3%増）、営業利益は439百万円（前年同期比33.4%増）、経常利益は440百万円（前年同期比34.4%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は423百万円（前年同期比8.0%減）となりました。

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行により経済活動が正常化したことから、景気は緩やかな

回復傾向が継続しつつも資源価格や原材料価格高騰の長期化、物価上昇に伴う消費マインドの低下、観光事業における慢性的な労働力不足など、先行きの予測は難しい状況にありますが、当社グループでは「企業価値の向上企業価値を意識した業務推進」を年度スローガンとして新たな価値創造・業務効率化と生産性の向上・意識改革・業務改善を実行し組織体制の強化を図ります。

当社グループはレジャー産業を基軸とした総合商社として、戦略的な顧客管理と戦略商品の企画開発による市場シェアの拡大を図るとともに、安定顧客の維持及び新規顧客・店舗の開拓と発掘を実践するため成長分野、高収益部門への積極的な経営資源の投入を進めます。

営業施策といたしましては、観光みやげ品事業での新規業務による更なる収益拡大を目指すとともに、有望市場への新規開拓を推進し、新規顧客開拓、新規出店戦略による売上確保を進めます。

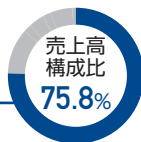
また、販売・サービス部門におきましては地域一番店を目指し、地域ユーザーに密着したイベントの情報発信・開催等を行い、接客・サービスの向上による安定顧客の維持及び新規客層の発掘を行います。

事業別の概況

Segment View

みやげ卸売 事業

6,064 百万円



みやげ卸売事業は、新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行により経済活動の正常化が進み、観光・レジャー需要の回復が継続する中で、新商品開発や販売を強化したことで受注も増加し、売上高は6,064百万円（前期比18.6%増）となり、営業利益は547百万円（前期比55.8%増）となりました。

みやげ小売 事業

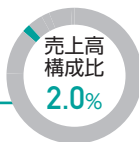
848 百万円



みやげ小売事業は、新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行により経済活動の正常化が進み、観光・レジャー需要は回復が継続したことにより販売が増加したものの、前年に開催された長野市における善光寺御開帳効果や全国旅行支援によるクーポン効果が剥落し、売上高は848百万円（前期比4.8%減）となり、営業利益は32百万円（前期比58.1%減）となりました。

みやげ製造 事業

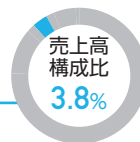
158 百万円



みやげ製造事業は、新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行により経済活動の正常化が進み、観光・レジャー需要は回復が継続する中で、新商品開発や販売を強化したことで受注も増加し、売上高は158百万円（前期比20.0%増）となり、営業利益は25百万円（前期は16百万円の営業損失）となりました。

温浴施設 事業

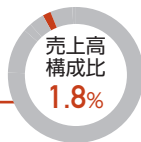
307 百万円



温浴施設事業は、前年度に価格改定を行い資源価格の上昇による運営費増加を吸収したことに加え、新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行により飲食利用も回復したことで、売上高は307百万円（前期比11.5%増）となり、営業利益は57百万円（前期比92.3%増）となりました。

不動産賃貸 事業

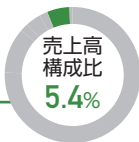
148 百万円



不動産賃貸事業は、長野市内の「ショッピングタウンあおぞら」のテナント管理を中心に営んでおります。このうち自社運営していた飲食店舗を賃貸に変更したこと等により、賃料収入は148百万円（前期比18.2%増）となり、営業利益は53百万円（前期比19.8%増）となりました。

アウトドア 用品事業

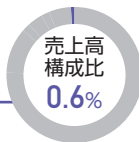
436 百万円



アウトドア用品事業は、コロナ禍を背景として増加したアウトドアユーザーの需要が一巡したほか、競合店の進出等の影響により、売上高は436百万円（前期比21.1%減）となり、営業損益は15百万円の営業損失（前期は33百万円の営業利益）となりました。

その他事業

51 百万円



その他事業は、飲食店の運営が含まれます。保険代理店及びギフト店等のノンコア事業の見直しを進めた結果、売上高は51百万円（前期比78.8%減）となり、営業利益は3百万円（前期比88.8%減）となりました。

財務諸表

Financial Statements

連結貸借対照表

(単位：千円)

科目	当期 2024年3月31日現在
(資産の部)	
流動資産	2,037,774
現金及び預金	834,674
受取手形及び売掛金	697,125
商品及び製品	430,731
原材料及び貯蔵品	43,113
その他	33,377
貸倒引当金	△ 1,249
固定資産	2,225,372
有形固定資産	1,548,712
建物及び構築物	568,051
機械装置及び運搬具	38,740
工具器具備品	39,100
土地	902,820
無形固定資産	169,885
ソフトウェア	10,975
ソフトウェア仮勘定	58,966
その他	99,943
投資その他の資産	506,775
投資有価証券	54,543
敷金及び保証金	113,386
繰延税金資産	295,147
その他	53,716
貸倒引当金	△ 10,018
資産合計	4,263,147

科目	当期 2024年3月31日現在
(負債の部)	
流動負債	1,150,978
支払手形及び買掛金	395,168
1年以内返済予定長期借入金	327,116
賞与引当金	51,629
契約負債	13,308
未払金	120,561
未払費用	69,046
未払法人税等	46,383
その他	127,763
固定負債	1,291,801
長期借入金	976,912
資産除去債務	96,162
長期預り保証金	205,076
その他	13,650
負債合計	2,442,779
(純資産の部)	
株主資本	1,806,023
資本金	1,000,000
資本剰余金	701,882
利益剰余金	270,550
自己株式	△ 166,409
その他の包括利益累計額	14,343
その他有価証券評価差額金	14,343
純資産合計	1,820,367
負債純資産合計	4,263,147

連結損益計算書

(単位：千円)

科 目	当 期
	2023年4月1日から 2024年3月31日まで
売上高	8,015,726
売上原価	5,780,070
売上総利益	2,235,656
販売費及び一般管理費	1,796,409
営業利益	439,247
営業外収益	11,054
受取利息及び配当金	755
受取事務費手数料	1,056
受取手数料	5,235
その他	4,007
営業外費用	9,790
支払利息	8,969
その他	821
経常利益	440,511
特別利益	231
助成金収入	231
特別損失	12,923
固定資産除却損	85
減損損失	9,796
関係会社清算損	1,041
会員権評価損	2,000
税金等調整前当期純利益	427,819
法人税、住民税及び事業税	69,759
法人税等調整額	△ 65,203
当期純利益	423,262
親会社株主に帰属する当期純利益	423,262

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科 目	当 期
	2023年4月1日から 2024年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	333,426
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 36,113
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 365,163
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△ 67,849
現金及び現金同等物の期首残高	902,524
現金及び現金同等物の期末残高	834,674

連結株主資本等変動計算書 当期 (2023年4月1日から2024年3月31日まで)

(単位：千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額		純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計	
2023年4月1日期首残高	1,000,000	701,711	△ 152,711	△ 179,140	1,369,858	4,281	4,281	1,374,140
連結会計年度中の変動額								
親会社株主に帰属する当期純利益			423,262		423,262			423,262
自己株式の取得				△ 168	△ 168			△ 168
自己株式の処分		171		12,899	13,070			13,070
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額 (純額)						10,062	10,062	10,062
連結会計年度中の変動額合計	—	171	423,262	12,731	436,164	10,062	10,062	446,227
2024年3月31日期末残高	1,000,000	701,882	270,550	△ 166,409	1,806,023	14,343	14,343	1,820,367

トピックス

Topics

新店舗情報「糸びす庵 CoCoLo新潟店」



2024年3月27日、新潟駅ビルのショッピングセンター「CoCoLo 新潟」内に、観光みやげ販売店『糸びす庵』を新規出店いたしました。『糸びす庵』は、南蛮えび煎餅を中心とした“糸び”商品を取り揃えた“糸び”好きさんのためのコンセプトショップです。

商品は、新潟のお土産品として定番の「南蛮えび煎餅」をはじめ、新たに「南蛮えび煎餅あおさ梅」「南蛮えび煎餅明太子」をラインナップに加え、販売しております。また、新潟県産南蛮えびを使用したディップソース「海老い〜ディップ濃い」もおすすりめです。

新潟のお土産として定着した

「南蛮えび煎餅」▶

※「南蛮えび煎餅」は、2024年モンドセレクトシオンにて金賞を受賞しました。



▼『糸びす庵』オープンに合わせて企画した新商品



「南蛮えび煎餅明太子」



「南蛮えび煎餅あおさ梅」



糸びす庵 CoCoLo新潟店

新潟県新潟市中央区花園1丁目1番1号
CoCoLo新潟2階

WEBサイト「Japanese OMIYAGE Guide」

「Japanese OMIYAGE Guide」では、日本のおみやげ品を英語・中国語でご紹介しております。特に、お菓子の中にどんなものが入っているのか海外の方にもわかるよう、中身が見える写真や、アレルギーを含む原材料の表記を英語・中国語でWEBページに記載しています。

WEBページへは、商品POPや商品パッケージに付けてあるQRコードを読み取り、アクセスすることができます。

富士山周辺をはじめ、長野・青森・盛岡等の外国人観光客の多い地域の商品ページへのアクセスが多く、今後も掲載商品を増やしていく予定です。

現在は、自社商品を中心に商品パッケージに「Japanese OMIYAGE Guide」のQRコードを付けて販売しております。今後は、直営店旬粋の商品パッケージや、2025年に向けて進めておりますEXPO2025大阪・関西万博の商品パッケージにも付けてゆき、訪日外国人の皆様への商品PRにつなげてまいります。

「Japanese OMIYAGE Guide」付きパッケージ商品ご紹介

店頭の商品まわりに設置した【商品ページURLのQRコード】や【商品パッケージに印刷したQRコード】をスマートフォンなどで読み取ると、英語・中国語で「Japanese OMIYAGE Guide」各商品ページを閲覧いただけます。



株式の状況

Stock Information

(2024年3月31日現在)

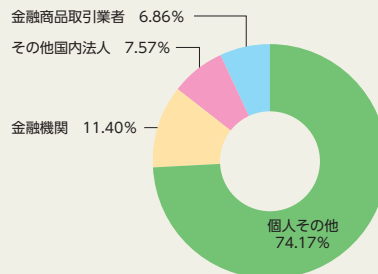
発行可能株式総数	1,600,000株
発行済株式の総数	727,500株
株主数	1,157名

大株主

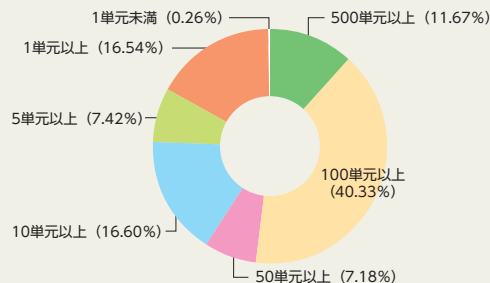
株主名	持株数	持株比率
久保田 一 臣	45,861 ^株	7.13 [%]
株式会社八十二銀行	31,100	4.83
宮 尾 聡	25,763	4.00
久保田 優 子	24,700	3.84
株式会社SBI証券	24,300	3.78
長野信用金庫	24,000	3.73
所 正 純	21,529	3.35
ガバナンス・パートナーズ 投資事業有限責任組合	18,000	2.80
二本松 武 典	16,144	2.51
日本証券金融株式会社	15,200	2.36

(注) 当社は、自己株式84,876株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

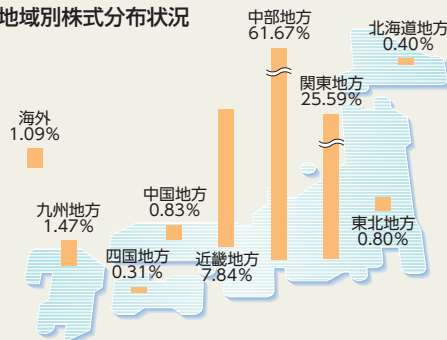
所有者別株式分布状況



所有数別株式分布状況



地域別株式分布状況



会社概要

Corporate Data

(2024年3月31日現在)

社名	株式会社タカチホ
所在地	長野県長野市大豆島5888番地
設立年月日	昭和24年2月28日
資本金	10億円
従業員数	連結 125名 個別 123名
主な事業内容	当社の事業は、観光みやげ品の卸売事業・小売事業・製造事業、温浴施設事業、アウトドア用品事業、不動産賃貸事業及びその他の各事業で構成されております。

主要な事業所 (2024年4月1日現在)

本社	株式会社タカチホ	長野県長野市大豆島5888番地
営業所	長野営業所	長野県長野市大豆島5888番地
	松本営業所	長野県松本市野溝東一丁目2番37号
小売店	みやげ品小売店	「九九や旬粋」(長野県) など8店舗
	一般商品小売店	「バンバン高田店」(長野県) など3店舗
製造工場	「お菓子工房」	(長野県) 1施設
温浴施設	「まめじま湯ったり苑」	(長野県) 1施設
その他	「ショッピングタウンあおぞら」	(長野県) 1施設・1店舗
連結子会社	有限会社タカチホ・サービス	長野県長野市大豆島5888番地
	株式会社越後銘販	新潟県新潟市中央区大島156番地1
	株式会社札幌旬彩堂	札幌市白石区菊水元町八条三丁目5番55号
	株式会社青森銘販	青森県十和田市東三番町3番41号
	株式会社奥羽銘販	岩手県盛岡市津志田中央二丁目7番8号
	庄和堂株式会社	山形県鶴岡市文下字広野11番地1
	株式会社蔵王銘販	宮城県仙台市宮城野区萩野町一丁目13番地8号
	株式会社郡山銘販	福島県郡山市安積町荒井字大久保45番地1
	株式会社赤城銘販	群馬県沼田市久屋原町212番地5
	株式会社佐渡銘販	新潟県佐渡市上矢馳640番地
	株式会社東京旬彩堂	東京都足立区入谷一丁目12番14号
	株式会社富士銘販	静岡県御殿場市板妻字82番地67
	株式会社ひだ銘販	岐阜県高山市松本町72番地1

役員構成 (2024年6月28日現在)

代表取締役社長	久保田 一 臣
常務取締役	尾宮 宏
取締役	寺澤 和 宏
取締役	寺島 博
社外取締役	湯原 芳 子
社外取締役	山田 暁 正
常勤監査役	所滝 純 亮
社外監査役	滝澤 幸 彦

社長以下4名の取締役は執行役員を兼務いたします。



株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 Tel 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所スタンダード市場
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL https://kk-takachiho.jp/ (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなります。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



株式会社 **タカチホ**

本社：長野市大豆島5888番地 〒381-0022
TEL (026) 221-6677 FAX (026) 221-1346
URL：<https://kk-takachiho.jp/>



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。

ホームページのご案内

インターネットのホームページにて、決算短信などの企業情報のご提供、営業活動のご紹介、オンラインショッピングによる商品の販売をいたしております。

アドレスは <https://kk-takachiho.jp/>

オンラインショッピングのご案内

インターネットのオンラインショッピングページにて商品の販売をいたしております。

アドレスは <https://www.u-mai.jp/>



QRコードからもご覧いただけます。

※「QRコード」は(株)デンソーウェーブの登録商標です。

おみやげガイドのご案内

インバウンド対応として英語と中国語で味やアレルギー等の商品説明を行っております。

アドレスは <https://souvenir-jp.net/>